

山形県教育センターだより

研究・情報課 指導主事 齋藤 秀志

1 はじめに

県教育センターは、本県教員の中核的な研究・研修・相談機関として、教員の資質向上のための研修の充実、教育課題を踏まえた実践的研究の推進と成果の普及、そして学校や各研究会の研究・研修活動への協力、さらには各種教育資料の情報発信などを通じて、学校や先生方の支援を行っています。

本年度もカリキュラムサポートプラザを中心に、出前講座等、支援の充実に力を入れています。

2 調査研究

当センターでは、第5次山形県教育振興計画に基づき、時代の要請を受けた調査研究を学校や教育機関と連携しながら進めています。平成23年度より2か年にわたって、3つのテーマで調査研究を実施しています。現在、これらの研究成果を各学校へ還元するため、報告書の作成を行っています。報告書は、21世紀型スキル獲得のための教えや学びの在り方、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり等、工業教育においても参考となる内容となっておりますので、報告書が各学校に届きましたら、ぜひご覧ください。なお、3つのテーマと研究概要は、以下のとおりです。

I 山形県における併設型中高一貫校の教育課程の在り方

東根中高一貫校（仮称）の開校準備が進む中、山形ならではの中高一貫校の教育課程の在り方について研究します。

II 9年間の子どもの成長を支える小中連携の在り方

本県における取組みや現状をとらえ、義務教育9年間の「学び」と「育ち」を支える小中連携の在り方について研究します。

III 発達障がい児の教育支援に関する研究

通常学級に在籍する発達障がい児への教育支援として、学級づくり授業づくりのユニバーサルデザインの在り方について研究します。

3 「情報モラル教育」研修教材の開発

来年度から完全実施される学習指導要領の総則では、すべての校種において児童生徒が発達段階に応じた情報モラルを身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動が位置付けられています。

平成24年3月に実施された「平成23年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査」（文部科学省）では、本県教員の「情報モラル等を指導する能力」（自己評価）が全国最下位となり、教員の情報モラル指導力向上は、喫緊の課題となっています。

当センターでは、情報モラル教育を推進するために、指導者として必要な基礎・基本となる知識・内容に精選し、短時間で効率的に研修できるパッケージ『情報モラル教育』eラーニング講座を開発しました。研修パッケージは、CD-ROMで近日中に各学校へ配付します。また、Web版も公開しますので、ぜひご活用ください。

次代を担う子どもたちが情報社会を生き抜くために、情報モラル教育を推進しましょう。

4 おわりに

昨年3月、県立酒田工業高等学校から、校章・校歌が刻まれた生徒手作りの図書返却ポストを寄贈していただきました。カリキュラムサポートプラザにて、大切に使用させていただいております。この場を借りて改めてお礼申し上げます。